

新型コロナウイルス感染症対策を考慮した災害時の避難の備えについて

滝川市では、台風シーズンを控え、今年は特に災害時の避難所で感染症が拡大するようなことがないよう、でき得る対策を準備しているところですが、市民の皆様にも特に次の点について御協力をお願いいたします。

災害から身を守る！ どちらも重要！ 感染症から身を守る！

〔 事 前 の 準 備 〕

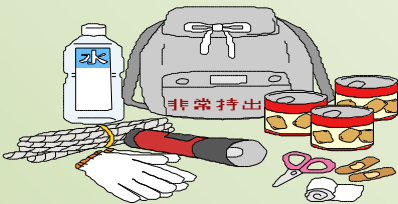
●親類、知人の住居等への避難先確保の検討



避難所では、不特定多数の人と空間を共有することになります。

感染リスクを避けるためにも、避難先として必ずしも避難所にこだわることなく、平時から親類や知人宅など、安全な避難先を、様々な災害を想定して、できれば複数地域に確保しておいていただきますよう検討をお願いします。

●避難所に持参する物資等の準備



避難所を利用する場合に備えて、食料・飲料水・生活必需品などの備蓄品のほか、以下の感染予防グッズの準備の協力をお願いします。

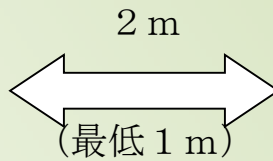
マスク	アルコール消毒液	体温計	常用薬やお薬手帳
ティッシュ	ウェットティッシュ	ペーパータオル	ポリ袋
ハンドソープ、固形石鹸（家族もしくは自分用で、避難所では共用しない）			
使い捨てのビニール手袋（多くの人が触れるものからの接触感染予防）			
使い捨てのビニールエプロン、ゴミ袋（避難所運営を協力する際などに使用）			
上履き（床からの接触感染防止。スリッパでも可）			

〔避難所での対策〕

避難所はできるだけ 3密(密閉・密集・密接) にならないようにします。

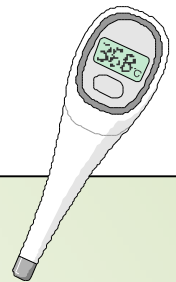
●避難者同士の密接・密集対策

避難所内では、避難者(グループ) 同士の間隔をできるだけ置くよう努めるとともに、避難者が十分なスペースを確保できるよう留意します。



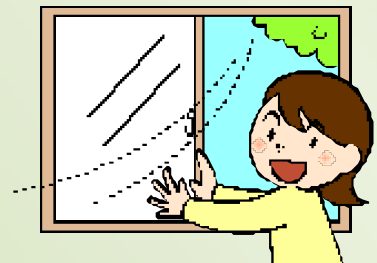
●発熱咳等の症状者対策

- ① 避難所への到着時に、避難者の健康状態(発熱、咳、発疹、傷、嘔吐、下痢など)を確認するとともに、避難生活開始後も、定期的に確認します。
- ② 避難スペースは、できる限りテントやパーティションなどにより個室化するとともに、発熱、咳等の症状がみられる避難者のための専用の避難スペース、トイレ等の確保など、一般の避難者とは避難所内の区画や動線が重ならないよう努めます。
(イメージ図参照)
- ③ 運営スタッフは、事前に各自の健康状態を確認します。
なお、症状がある場合は、症状が改善するまで健康状態に問題のないスタッフと交代するなど対応します。

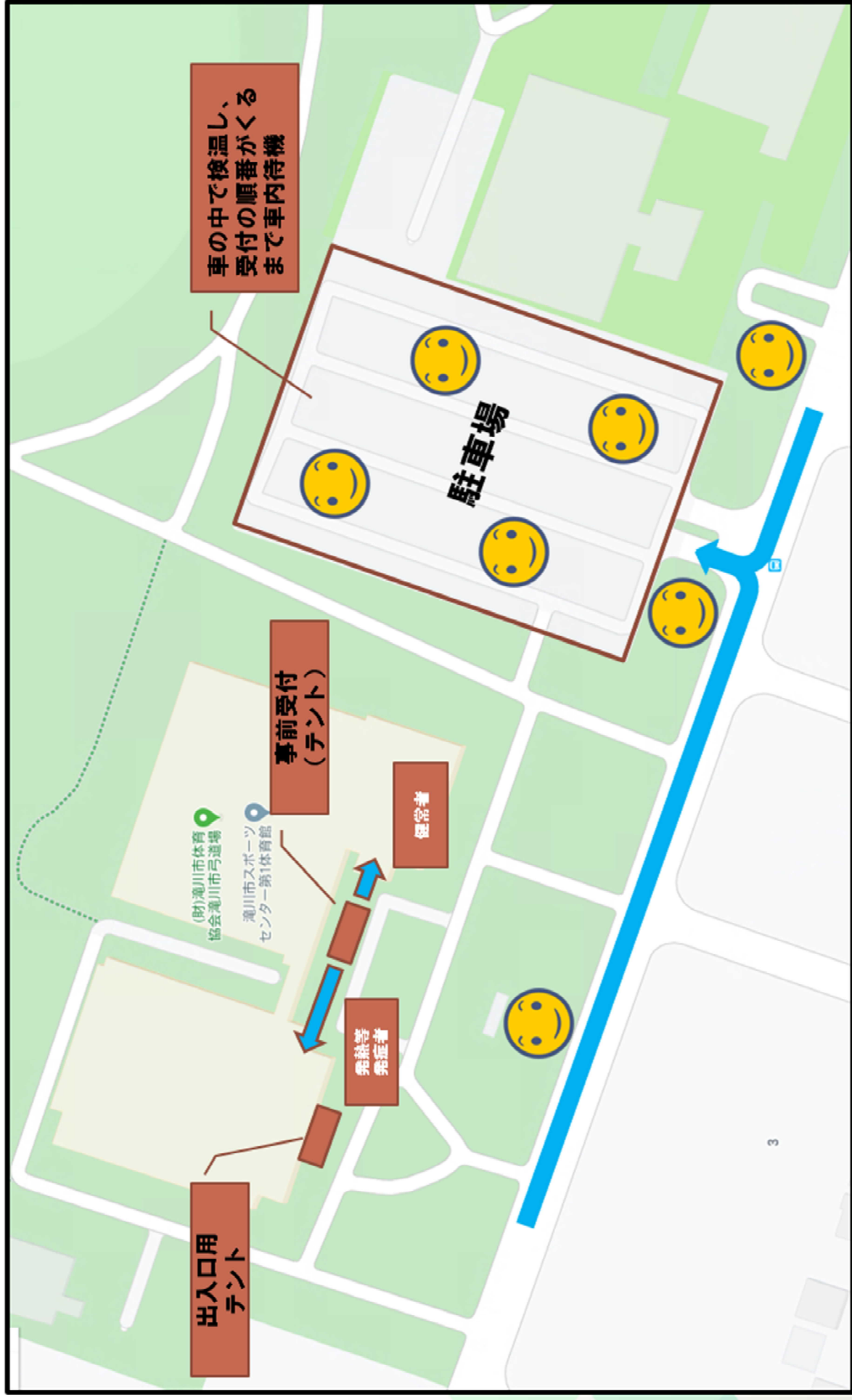


●避難所内の衛生管理

- ① 避難者や運営スタッフは、頻繁に手洗いや咳エチケット等の基本的な感染症対策を徹底します。
- ② 避難所内は、定期的に十分な換気を行います。
- ③ 定期的に避難所の清掃を行います。その際にはご協力をお願いします。



滝川市スポーツセンターを避難所として開設する場合【イメージ図1-1】



【イメージ】回避所として開設する場合

滝川市スポーツセンター 第1体育館 1階平面図

